

まちづくり活動助成「まち“夢”工事」部門 第1次工事提案書

団 体 名	てんぱくふれーぱーくのかい てんぱくプレーパークの会
工 事 提 案 名	ふれーぱーくこやのさいけん プレーパーク小屋の再建
工 事 を 行 う 場 所 (町名まで ご記入下さい。)	名古屋市天白区 天白公園 冒険の山の一面 名古屋市天白区天白町島田黒石
工 事 を 行 う 場 所 の 地 図 (周辺の地図を 貼り付けて 下さい。)	<p>天白公園の*をした辺り 今まで、小屋のあった場所</p>

工事提案の具
体的な内容

工事を行う現地状況を写真などで表現するほか、具体的な工事の内容を文章や絵で表現して下さい。

全体工事費 約 3.850.000 円 (概算)

助成申請額 約 3.080.000 円 (概算)

※助成申請額は、全体の工事費の5分の4(80%)が限度です。

■1998年開園当時から、活動の拠点であったプレーパーク小屋を2012年5月11日未明、放火の疑われる不審火により焼失。



以前の小屋



5月11日

■工事周辺整備

予算：道具購入費	30.000 円
材料費	50.000 円
講師謝金	@15.000×1人×3回=45.000 円
ボランティア謝金	@5.000×5人×5回=125.000 円

小屋を再建するにあたり、今までの風雨などで流出した土砂の分を整備する。冒険の山や東の森、西の森など天白公園内の間伐を行い、工事の際に利用できる用材の確保。同じ天白公園内で活動されている天白公園整備クラブさんと共に、山の手入れを行いながら、子どもたちにも雑木林を守る活動が必要なことに理解を深める。

■プレーパーク小屋の建設

予算：小屋の建設費として	3.500.000 円
諸手続き費用	100.000 円

国産材の間伐材を利用してプレーパーク小屋を建設。出来れば、間伐作業を行う山林に足を運び、子どもたちやその親にも日本の林業の実態などを直に学ぶ場としたい。伐採・乾燥・加工を経て資材を運搬し、小屋になる工程をきちんとらせていきたい。また、小屋の再建を通じて、プレーパークの存在意義、「子どもの遊び」の有用性など、改めて地域への理解を求めていく。基礎工事・屋根工事など専門業者でなければできない箇所については依頼し、その他、自分達でできる所については、専門家の指導の下、行う。防火対策についても、消防署の助言などを仰ぎながら、進めていく。

<p>審査基準①</p> <p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公益性・公共性のある提案か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする提案か ・地域の身近な課題やニーズを的確に把握しているか ・地域に貢献する施設か ・どこまでを地域として捉えているか
<p>提案工事の必要性について上記観点から分かり易くご記入下さい。</p> <p>■プレーパークの中心的存在 てんぱくプレーパークの開園時より、プレーパーク小屋をプレーパークの中心的存在として利用してきました。プレーリーダーの住処のように感じる子もいました。親子のみで広い公園を利用するのは、なんとなく不安を感じることもあります。開園中小屋が開いていれば、人がいる安心感があつたことはとても大きかったです。公園で遊んでいる子どもにとっても、怪我をした時、何か困つたことがあつた時、駆けつける場所があることは今後も必要です。災害時などには、道具類、調理器具などが保管されていることで防災の基地としても利用が可能です。</p> <p>火災で焼失後には、公園を散歩で利用される地域の方々から、「子どもたちの大切な場所が大変なことになったね」「いつもここで元気に遊んでいたのに残念だね」などと、温かいお言葉を頂くとともに、プレーパークの活動が地域で理解頂けていたことを再確認する機会にもなりました。物置さえあれば日頃の道具類などの収納は可能です。しかしながら、私達は今まで活動の支えであつたプレーパーク小屋をもう一度、今度は自分達の力で再建したいと思っております。</p> <p>■地域とのつながり 天白区は名古屋市でも、若い世代が多い場所。また、自然豊かで子育てをしやすい環境もあり、通勤族の方も多くみえます。プレーパークは子どもを中心とした地域の縁、つながりづくりの核となっています。世代を超えた世代間交流が出来るのも、屋外の開かれた雰囲気と場があるからです。地域の方々にも気軽に立ち寄っていただけるような場にしていきたいと思ひます。</p> <p>■改善と住民参加 プレーパークで遊ぶ子どもが年間1万人を超え、子どもたちも利用できる小屋、また授乳、おむつ替えができるスペースなどを確保し、雨除けができるような屋根を大きくするなど、利用者の声を聞きながら形にしていきたい。建設についてもできる範囲で子ども、地域の方々の参加をひろく募り、自分達の手で作りに上げていく小屋にしたい。</p>	
<p>審査基準②</p> <p>独創性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性や資源などを活かした個性豊かな提案か ・創意工夫を凝らした提案か
<p>提案工事の独創性について上記観点から分かり易くご記入下さい。</p> <p>■参画 ここを利用する子どもたち、大人の参加を募りながら、小屋のイメージを作りあげていく。また、活動のよき理解者であつた地域の方々にも協力を仰ぎたい。今まであつた小屋の長所は生かし、現状に即して改善が必要な部分については、修正をしながら、皆の意見を尊重しながら進めていく。小屋の模型については、名城大学の学生さんの参加をお願いする予定である。基礎工事、屋根工事など専門業者に依頼すべき所は外注にするが、私達の力でできるところは、協力して進めていく。お父さんの力はもちろん、子どもたちでもできることは自分達で進めていく。また、ここで子ども時代を過ごした青年たちにも協力を仰ぎながら進めていく。</p> <p>■てんぱくプレーパークについて 工事計画にのっとり準備を進めていく中で、掲示板などを利用し、進捗状況を公園利用者や地域の方々にお伝えする。「子どもは子どもの中で関わりを持ちながら育つ。」「遊びを通じて子どもは自分を育てる」そんなシンプルなメッセージをきちんと伝えていく。また、小屋の有用性などについても改めて理解をお願いしていく。</p> <p>■伝承 以前は、遊びの中で育まれていた道具を使いこなす力、工夫すること、知恵を出し合うこと、協力して一つの物を作り上げていくことなど、作業の中で、伝承できる暮らしの知恵を広い世代に伝えていく。工事をきっかけにいろいろな世代の方々の参加を仰ぎたい。家庭、学校、だけではなく地域の方々とも触れ合う「ナナメの関係」を子どもも大人も大切にできるように作業を進めていきたい。</p>	

審査基準③ 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動計画が具体的になっているか ・スケジュールは妥当か ・地域住民が参画して取組んでいく予定はあるか ・自己資金（工事費の5分の1）を用意できる見通しはあるか
第2次選考に向けてのスケジュールをご記入下さい	
24年 7月 8月 9月 10月 11月 12月	勉強会 意見交換会(子ども編・大人編) 模型作成 意見交換会 業者との打ち合わせ 工事提案会 第2次選考書類準備
準備助成金を活用して行う、活動計画をご記入下さい。	
<p>■勉強会を開き、プレーパーク活動、小屋の防火対策を含め、再建にあたり何を重要事項にしていけばよいのかを学ぶ機会を設ける。</p> <p>■ここを利用する子どもたちの声、ここで子ども時代を過ごしてきた人達や、親、地域の方々と共に、どんな小屋を建てたいのか、どんなことが必要なのかを話し合う意見交換会を行う。名城大学の学生さんにも参加頂き、小屋の模型の作成をお願いする。</p> <p>■実際の小屋のイメージを形にしなが、具体的に何が必要なのか、小屋をどう利用していくのかなどを掘り下げていく。</p> <p>■それまでに作り上げてきたイメージを元に、実際の工事で必要となる設計図については専門業者に依頼し、きちんと話し合いを行う。</p> <p>■工事提案会では、利用者は勿論、公園を利用する地域の方々にも参加頂けるように進めていく。また、公園の管理者である名古屋市緑政土木局、天白土木事務所にはその都度進捗状況を報告し、理解・協力をお願いする。</p>	
自己資金を用意できる見通し	自己資金として、全国から寄せられた復旧支援金を充てる予定です。
工事を行う場所の地権者や管理者等の対応状況	工事を行う場所の地権者や管理者に事前に提案内容について協議し、その対応状況をご記入ください 名古屋市と緑のパートナー協定を結び、活動していた場所。今後も活動が可能。

助成を受けようとする活動項目ごとの支出内訳書(ページが不足する場合は別紙にご記入下さい。)

活動項目	内訳		金額(円)
勉強会	関係者謝金	講師謝金	30.000円
	交通費	講師交通費	22.000円
意見交換会	使用料賃貸料	会場使用料	3.600円
	賃金	託児賃金@3.000×3	9.000円
	使用料賃貸料	会場使用料(3回)	10.800円
	資料作成費	材料購入費	20.000円
計画作成費	消耗品費	事務用品購入費	10.000円
	設計作成費	委託料	100.000円
工事提案会	使用料賃貸料	会場使用料	3.600円
	資料作成費	コピー代・用紙代	2.000円
	賃金	託児賃金@3.000×5	15.000円
計			226.000円

<p>公開</p> <p>審査基準④</p> <p>活動実績と</p> <p>主体性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか ・自ら主体となって工事を行い、施設の継続的な維持管理をする意欲と見通しがあるか
<p>団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点から分かり易くご記入下さい。</p> <p>参考資料として活動に関するチラシやリーフレットなどを添付することができます。この場合、公正を期するため、A4判3枚(両面)までを限度とさせていただきます。</p> <p>■団体の概要</p> <p>私達は、名古屋市天白公園の一角で『子どもたちが、いろいろな年齢層の人々と関わり、自然にふれ「やってみよう」と思う好奇心や欲求を、自らの手で実現できるような、自由に開かれた遊び場を目指して』活動している市民団体です。天白公園の雑木林を子どもの遊び場として残そうという20年近い運動の中から、1998年に「てんぱくプレーパーク」が誕生し、全国でも珍しい、常設の住民運営(費用も)の冒険遊び場です。</p> <p>■活動実績</p> <p>名古屋市と「緑のパートナー」として認定され、天白公園での活動をしています。開園より14年の活動は、さまざまな世代交流の場にもなっています。また、未就園児親子「森のひろば」は、外遊びの面白さ、子どもを見守る大人の目を養う場になっています。毎月土曜日に行われる「てんカツ(てんぱくプレーパーク活動応援日)」には、市外からの参加や父親の姿も見られます。</p>	

第8号様式は、5ページ以内でご記入下さい。